

(1テーマのみ開講)

申込期限 7月31日 (但し、定員に達し次第メ切)

**『☆ 5 3 次元ARプログラミング 1 日体験教室** 

8/19<sup>2</sup>

定

10~50名

陽東キャンパス9号館内

10:00~16:00

申込方法

右記QRコードより申込フォームへ必要事項記入

申込は \ こちらから //



械

(3テーマ同時開講)

申込期限 9月1日 (但し、定員に達し次第メ切)

**『デき機械コース1日ワークショッフ** 

(各テーマの詳細は裏面)

定員・場所

裏面を参照

申込方法

右記QRコードより申込フォームへ必要事項記入

申込は \ こちらから //



申込期限 9月30日 (但し、定員に達し次第メ切)

3電気電子実験体験教室

(各テーマの詳細は裏面)

定員・場所 裏面を参照

開始・終了時刻はテーマ によって異なる

申込方法 右記QRコードより申込フォームへ必要事項記入

申込は **∖∖ こちらから** //



Utsunomiya University School of Engineering

# 宇都宮大学 工学部

共催:公益財団法人KDDI財団

本チラシに関する問い合わせ 〒321-8585 栃木県宇都宮市陽東 7-1-2

028-689-6005

engo@a.utsunomiya-u.ac.jp

#### 複数参加可

## 体験型科学教室の一覧



#### ★ 3 次元ARプログラミング 1 日体験教室 8月19日(火) 10:00~16:00

場所 9号館2階演習室

9号館2階 ネットワーク実験室1

定員 10~50名



伊藤 聡志 教授



山登 一輝 助教

CGプログラミング言語ProcessingとWeb カメラで拡張現実(AR)コンテンツの製作体 験を行う。本テーマでは、ARライブラリの NyARToolkitと3DCGソフトウェアのBlender の使用方法も取り扱う。

## **デ : 機械コース 1日ワークショップ** 9月6日(土) 9:00~

テーマ①

物体運動のコンピュータプログラミング

時間 9:00~14:00

場 所 7号館 315室

定員 8名



吉田 勝俊 教授



山仲 芳和 助教

物体の運動を、コンピュータ(Python)で求める方法を体験します。機械的なカラクリの運動方程式は、手計算では解けないことが多いです。コンピュータを使うと、簡単に解けて、カラクリの運動をアニメーション表示できます。

テーマ②

見えない流れを見える流れに!

時間 9:00~12:00

場 所 2号館 212教室+6号館 101室

定員 12名



加藤 直人 助教

最近、様々な分野で可視化が注目されています (機械工学以外にも、 情報分野、政治経済分野、交通や人口の動きなど)。

風洞実験で、翼・ボール・車のまわりを流れる空気の動きを見てみま せんか?

テーマ③ バイオメカニクス入門: 筋肉が動く仕組みを知ろう

時間 9:00~12:00

場 所 2号館 224番教室

定員 12名



中林 正隆 助教

生体筋が活動すると、筋内部で筋電位(EMG)という微弱な電位が発生します。この電位を計測することで、様々な生体情報を得ることができます。

本講座では生体筋の活動原理から分かりやすく解説し、EMGを計測することで生体現象と統計的解析の実際を体験してもらいます。

### **1** 日電気電子実験体験教室 10月18日(土)

テーマ① 電気電子への扉 〜理系のためのバイオシグナル講座〜

時間 13:00~16:15

場 所 4号館 303室

定員 10名



東 剛人 准教授

生体信号 (バイオシグナル) を測定するための電子回路の作成、およびパソコンを用いたプログラム作成を行う。

自分の皮膚温度の測定を行い、作成した回路を体験する。

指導する大学生による相談コーナーも設ける。

テーマ②

工作で学べるワイヤレス通信のしくみ

時間 10:00~15:30

場 所 4号館1階イベントスペース

定員 20名



古神 義則 教授

無線通信の仕組みや無線通信応用に関する歴史や将来の展望について 解説した後,通信モジュールキットを用いた電子工作により簡単な送 受信機を製作し、通信実験を行う。

以上の経験を基に、無線システムのアプリに関するアイデアソンを実施する。

テーマ③

GPS衛星からの電波をキャッチする

時間 10:00~15:30

場所 4号館1階 イベントスペース → 4号館307室



古神 義則 教授

無線通信・GPSの仕組みについて解説した後、スペアナを用いたGPS電波観測実験、GPS受信システムを用いた衛星位置、各衛星からのデータ取得の実習を行う。以上の経験を基に、GPS衛星を用いたアプリに関するアイデアソンを実施する。

